

1. なぜ「副首都」か？

東京は「官都」

永田町（国会）、霞ヶ関（官僚機構）などの政府機能が集中している。

大阪は「民都」

大阪は経済の中心であったが、大企業の東京転出が続いているのは東京に首都機能が集中した結果である。

2. ではどうしたらよいか？

大阪の歴史を紐解けば、経済が栄える「民都」として、

- ・自由な発想から新しいビジネスが生まれ出されてきた
- ・民間がボランティアや寄付でインフラを整備してきた

こうした気風や文化を生かせる新しい役所を大阪に！！

1

3. 日本国に何が求められているか？

これまでは、政府（税金を集め分配）と企業（利潤を追求）が社会的役割を担ってきた。
これからは、

政府でもない企業でもない第3のセクターによるフィランソロピー※が世界では大きな潮流。

※フィランソロピー：福祉政策などに代表される政府機関に頼ることなく社会改革に影響を及ぼそうとする民間セクターによる活動)

- ・内閣府の民間非営利団体実態調査では

非営利団体の総支出は約35兆円（日本のGDP約500兆円）

- ・ある民間の調査では日本国内の

クラウドファンディング市場規模は約300億円（2012年⇒2015年で約4倍）とも

4. 副首都に「公益庁」を！

～第2の動脈（民による公益への投資）を民都・大阪に！～

公益法人（公益社団・財団法人、特定非営利活動法人（NPO法人）、医療法人、社会福祉法人、学校法人など）の所管は、内閣府（公益認定等委員会、大臣官房公益法人行政担当室）、厚労省（医政局、老健局）、文科省（高等教育局）等とバラバラ。

これらを一つにまとめた「公益庁」を大阪に誘致することで、

いわゆる「フィランソロピー・キャピタル（資本）」を大阪に呼び込む

2

5. 万国博覧会

日本国には、2020年東京五輪の次の国家プロジェクトが求められている。
万国博覧会は2015年がミラノ、2020年がドバイ、2025年は・・・

大阪が呼び込む世界の潮流（フィランソロピー・キャピタル）を突破口に副首都化を実現し、
副首都・大阪として万博を開催

**「高齢化社会」をテーマに万博を誘致し、
未来に希望をもてるような世界像を「副首都・大阪」から世界へ発信する**

6. まとめ

政府でも企業でない「第3のセクター・フィランソロピー」は世界の潮流

「公益庁」により、この世界の潮流を呼び込む

「民都」として、呼び込んだ民の力を最大限に活かす

この動きを突破口に大阪の「副首都」化を実現し「万国博覧会」を開催！

3

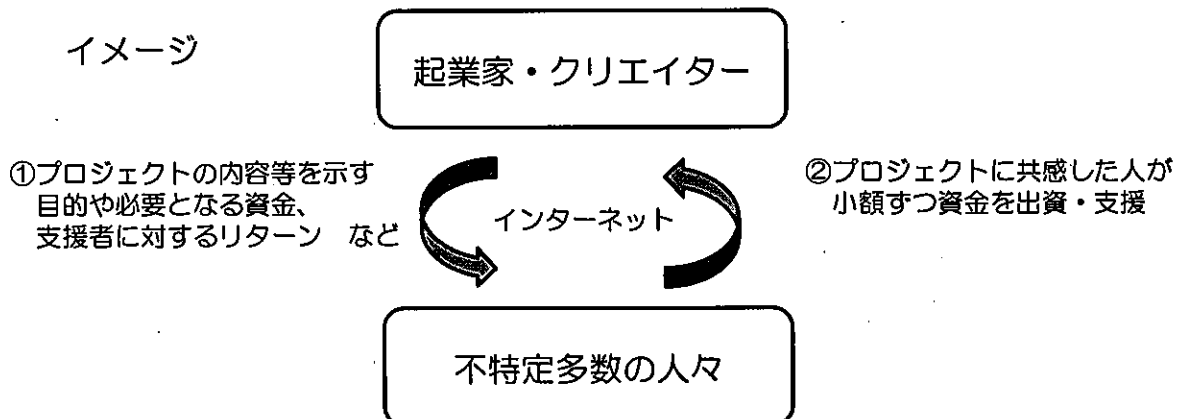
参考 ～ クラウドファンディングについて ～

クラウドファンディング（CrowdFunding）

…「Crowd（群衆）」+「Funding（資金調達）」

資金を必要とする起業家等が、実行したいプロジェクトについて、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ること。

イメージ



4

クラウドファンディングのメリット

- 起業家にとっては、
 - ・・知名度がなくても、プロジェクトのアイデアと実行するスキルをもとに、資金を集められる
- 支援者にとっては、
 - ・・成長の可能性のある製品等に、インターネットで少額から気軽に出資できる



海外では既に大きな市場が形成！！

民間の調査では、世界のクラウドファンディング市場規模は
2013年で5,100億円、2014年で1兆4,000億円とも

日本のクラウドファンディング市場

日本におけるクラウドファンディング市場は、アメリカなど海外の市場に比べると、
まだまだその規模は小さいが、今後どんどん成長が見込まれ市場の一つといわれている

民間の調査では、
クラウドファンディングの国内市場は2014年で197億円、2015年の見込みで300億円とも